



国際ロータリー 第2500地区 第3分区

Asahikawa Morning Rotary Club

2022～23年度 第1338回 例会報告

例会日：2022年10月20日（木）時間：7:30～8:15

例会場：旭川アートホテル 通常例会

2500地区ガバナー

ともに紡ごう！ロータリーの未来へ

久木 佐知子（旭川西 RC）

RI会長：

ジェファー・E・ジョーンズ（アメリカ）

クラブ活動方針 『これまでの30年をこれからの30年に』

クラブ会長：大久保 昌宣・幹事 竹村 陽一

会長挨拶

大久保 昌宣 会長

皆さまおはようございます。

先日は久しぶりの夜間例会に福居さん、飛弾野さんの名誉会員お二人にもご参加いただき皆さまと楽しい時間を共有させていただきました。ありがとうございます。

また次の機会を楽しみにしております。

さて、最近の気になる話題としまして所謂「コロナ融資」について触れたいと思います。コロナ禍が猛威を振るい始めた2020年、事業者支援として行われたコロナ融資ですが、その返済が今年から来年にかけて始まっています。予定通り返済を行える事業者もいれば、資金的な余裕がなく金融機関と返済についての協議を行っている事業者も多くいらっしゃいます。

グローバルな視点で言うと、中国が主導する広域経済圏構想「一带一路」で新興国向け融資の焦げ付きが増えてきたよう

です。金利を減免するなどした債権は2020～21年に計520億ドル（約7.4兆円）と18～19年の3倍を超え、新興国経済も直撃したコロナウイルスによる影響でスリランカやアフリカ諸国では中国からの債務に対して金利の減免・返済期日の繰り延べ・元本削減等の交渉を進めているとのこと。当然、中国側からの融資額も今後増える可能性は低いとの見方が大半との記事を目にしました。

コロナ融資については今後の政府対応が気になるころではありますが、残念ながら倒産等息切れをしてしまった企業も多く出始めました。皆さまも取引上の与信管理等の徹底を僭越ながらご提言させていただき会長挨拶とさせていただきます。



会務報告

幹事 竹村 陽一

1. RI第2500地区 ガバナーエレクト事務所より、『2023～2024年度 RI第2500地区 ガバナー補佐決定のお知らせ』收受。
2. 公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より、『ハイライト よねやま271号』收受。
3. 今津寛介旭川市長より、『ごみのポイ捨て禁止運動 秋季街頭啓発及びごみ拾い実践活動参加に対するお礼状』收受。



委員会報告

クラブ会員研修委員会

①

委員長 河崎 高麗男

10月24日の世界ポリオデーに行動しよう

国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、世界ポリオデーのメッセージの中で、この日に行動を起こすことの必要性について説明しています。

世界のポリオデーはポリオ根絶に向けた私たちのこれまでの進捗を振り返り最終的なステップについて話し合う絶好の機会です。しかし今年は特別です。ポリオが再びニュースが話題となり再び恐怖心が高まっています。全世界がこの事態に注目しています。誰も恐怖心の中で生活すべきではありません。

ポリオに注目できるこの機会を生かすべきです。ポリオがどこかで存在する限りすべての子供に危険が及びます。この事実が皆様の継続した活動、献身、寄付、アドボカシーのインスピレーションと成っています。

皆様のおかげでポリオ根絶が目前と成っています。皆様に心から感謝しています。また最前線で活動する人たちにも特別な感謝を送ります。

グローバルシチズン・フェスティバルでロータリーがポリオ根絶への1億5,000万ドルの寄付を約束

国際ロータリーのジェニファー・ジョーンズ会長は、9月24日に開催されたグローバルシチズン (Global Citizen) フェスティバルのメインステージに登場し、ポリオ根絶に対するロータリーの取り組みを紹介するとともに、さらに1億5,000万米ドルを投入することを発表しました。

ニューヨークで6万人、インターネットやテレビでさらに大勢の視聴者を前に講演したジョーンズ会長は、最近ニューヨーク州が同地域でのポリオ再発を受けて非常事態宣言を出したことに言及し、



ロータリーとパートナー団体が引き続きポリオ根絶に尽力することが極めて重要であると述べました。この発表に関するポリオ再発で根絶の必要性が浮き彫りに長年ポリオのなかった地域で野生型と変異型のポリオウイルスが検知されたことは、特に最終段階においてポリオ根絶が困難であることを改めて物語るものとなりました。ここ数カ月の間に、ワクチン未接種である米国の男性が変異型ポリオによって麻痺を発症したほか、英国では下水からポリオウイルスが検出され、マラウイではパキスタンから流入した野生型ウイルスに子どもが感染しました。モザンビークでも、パキスタンから流入した野生型ポリオウイルスに複数の子どもが感染しており、近年同国では伝播型ワクチン由来ポリオウイルスの1型と2型の両方が発生しています。

しかし、ロータリーと世界ポリオ根絶推進活動（GPEI）のパートナー団体は、「ポリオのない世界」の実現に自信を抱いています。10月、ロータリーはポリオ根絶活動への募金や認識向上のために力を合わせ、世界ポリオデー（10月24日）を支援します。1,500以上のロータリークラブ、ローターアクトクラブ、インターアクトクラブが、ポリオ根絶活動に対する支援を表明しています。現在も、この日にちなんだクラブの活動を記録し、世界ポリオデー・ツールキットをダウンロードし、ポリオプラスへの寄付を行うことができます。また、ロータリーの世界ポリオデー特別プログラムをご覧ください。この動画プログラムでは、根絶活動の最新情報や継続したサポートの必要性について紹介されます。動画はendpolio.org/jaとFacebookで公開される予定です。

委員会スピーチ

米山推進委員会

委員長 飯塚 達夫

今月は米山月間ということで、もう十分内容をご存じの先輩のみなさんにもお付き合い願って、一緒におさらいをしてみたいと思います。ちょうど地区の米山研修会の際に使われたパワーポイントの最新資料をお借り出来ましたので、一部棒読みになるかもしれませんがご覧ください。先ほど今年度の米山の「豆辞典」が配布されましたが、詳しくはそのなかに記載されていますので、時間のあるときにご一読下さい。

今日のお話の流れとしては、まず米山事業がどのような経緯・目的でつくられたのか、その歴史的な背景を見ていきます。次いで現状はどうなっているのか——国別の奨学生の数や事業規模・奨学対象者の選考方法——、それから全国のロータリークラブの取り組み状況と、そのなかで我が2500地区がどの程度の位置づけで貢献させていただいているのか、各データをご覧ください。最後のほうではこの制度によって支援を受けられた学友の皆さんが、どのように活躍されているのかご紹介をします。詳しい事は豆辞典をご覧くださいとして、私が今回意外に感じたことは、日本にロータリー運動をひろめた米山梅吉氏が逝去されてから、この事業が構想され始めたということです。それから、この奨学金制度が必ずしも経済的困窮者を条件としていない事です。なによりも世界平和に繋がる将来の国際交流に貢献したいとする理念に添う人材であることです。また、2500地区の寄付額が全国の平均をかなり下回っている現状があることです。



* 旭川モーニングRC 出席報告 *

* 本日の出席	第 1338 回 例会	総 員	21 名
	10月 20日	出 席	16 名
		出席率	76.19 %
* 修正出席	第 1335 回 例会	総 員	21 名
	9月 22日	出 席	19 名
		出席率	90.48 %
* ゲスト	ございません		
* ビジター	ございません		
* メークアップ	10/19 武田昭宏 (旭川北RC)		
	* 10/20分 ニコニコ 2,000円		



会 報 編 集

広 報 IT 委 員 会

・ 谷 地 元 憲 次 ・ 宮 永 憲 一 ・ 朝 倉 直 博